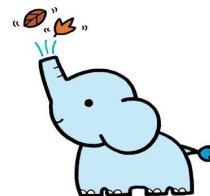
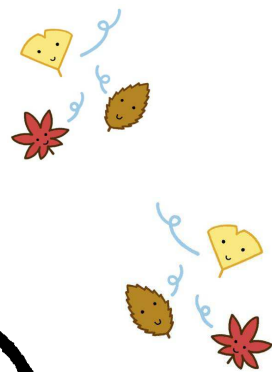


2013 平成25年

11

第68号



朝晩少しずつ寒くなり、木々の葉っぱも赤や黄色へと美しく色付き始めました。例年に比べて遅く咲き出した金木犀の花の甘い香りがただよっています。「葉っぱの色きれいね」「お花のいいにおいがするね」などと、子どもに話しかけながら、一緒に季節の移り変わりを感じてください。

冬に向けて心も体も元気に過ごせるよう、生活リズムや服装、食生活などを見直しましょう。

久御山町子育て支援センター

あいあいホール所長 辻 彰子

子育て支援センター あいあいホールでは

*プレイルームでは、就学前の親子が遊べます。

*みるく♡サロンは、水曜日 午前10時30分～正午まで談話室で開いています。

(対象は2、3か月から10か月ぐらいまでの赤ちゃんとその保護者、妊婦さんです)

*午前・午後の2回お片づけの時間を決め、その後親子で、手遊びや体操などを行っています。

*子育てに困っていること、悩んでいることがあれば、お気軽にご相談ください。

開館時間 午前8時30分～午後5時

(プレイルーム利用時間 午前9時～午後4時)

休館日 月曜日・祝日・日曜日 (第2日曜日は開館)

【発行】 久御山町子育て支援センター「あいあいホール」
TEL 0774(41)2263 / FAX 0774(41)2283

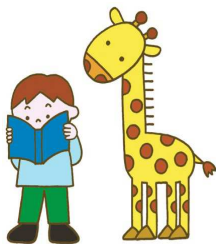


絵本 よんで！



10月27日～11月9日は、読書週間です。読書の秋にちなんで、親子で絵本を楽しみませんか。いわゆる読み聞かせが落ち着いてできるようになるには、1歳半～2歳ぐらいになってから。それまでは、「読み聞かせするんだ！」と肩ひじ張らず、スキンシップを楽しむ気持ちで子どもに絵本と出わせてあげてください。2歳ぐらいからは、簡単なストーリーから始めてしっかりとした物語へと少しずつ理解し、喜べるようになっていきます。4・5歳は本当に絵本を楽しむことができる頃です。子ども自身に生活の体験が積み重なってくると、絵本から得られる楽しみも大きくなります。本を読まなきゃというのではなく、よく遊んで、見たり聞いたり触ったりといった、五感を十分に働かせる普通の生活を送ることをまず心がけましょう。

絵本を1冊読み終わって「もう1回読んで」ということはありませんか。きりがいいほど「読んで」と言ってくるのは、お話を聞きたいというよりおかあさんにそばにいてほしいからではないでしょうか。度が過ぎるときは、生活全体を見直してみましょう。だっこしたり、一緒にいても携帯に気を取られて子どもの話しかけに耳を傾けていなかったなとか、気づくことがあれば変えてみませんか。子どもは心が満足していればきりなく何かを要求することはあまりないのではないのでしょうか。

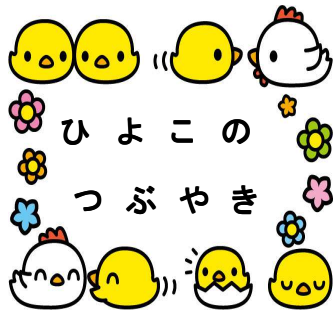


絵本はもちろん面白いのですが、子どもは親がそばにいてくれることがうれしいのです。子どもにとって、絵本を読んでもらう時間は親と一緒にいてくれる大切な時間なのです。

絵本の読み聞かせをしています



あいあいホールでは、図書館司書による読み聞かせがあります。第1、第2、第3木曜日と、第4金曜日の親子ひろば(地域福祉センター)です。時間等については、あいあいだよりの予定表をご覧ください。子どもと一緒に、楽しいひと時を過ごしましょう。



今日は 何の日! ?

11月8日は「いい歯の日」

虫歯を予防するためには、やはり歯みがきが一番たいせつです。

子どもが自分で歯みがきをしたあとは仕上げみがきを行い、虫歯を予防しましょう。

ご飯を食べるときはしっかりとかんで食べる習慣をつけましょう。肥満予防となるだけでなく、唾液がたくさん出ることによって口の中を洗い流し、虫歯を防いでくれる役割があります。



11月9日は「換気の日」

「いい空気」と読ませることから換気の日と呼ばれています。

これから暖房器具を使うことが多くなってきますが、暖房器具を使用中に換気が不十分な状態が続くと、一酸化炭素中毒で意識を失うこともあります。

空気(風)の通り道をつくり、1時間に1回
5分程度の換気を心がけましょう。



11月12日は「皮膚の日」

空気の乾くこの時期は皮膚がかさかさになったり、かゆくなったりと乾燥肌が気になります。皮膚のかさつきが気になったときや、お風呂上がりには保湿クリームを塗りましょう。



平成25年度から、第2日曜日を閉館しています。
11月は10日です。